

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田沢湖キャンプ場管理運営費					
担 当 課 係 名	観 光 課		観 光 施 設 係		作成者	石橋良晴
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし				
	主要施策	観光客受入態勢の整備				29
予 算 費 目	一 般 会 計		7 款 商 工 費	1 項 商 工 費	3 目	観 光 費
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度			新規 / 継続の区分		
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☒ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	キャンプ場利用客のため、管理運営を指定管理委託する。
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	施設内の整備を徹底し、利用者の利便を図る。 施設利用者への周辺案内を行い、仙北市観光振興を図る。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	各種施設の位置、機能、特性を十分に把握したうえで、全ての施設を清潔かつその機能を正常に保持し、利用者の快適かつ安全な利用を図るよう適正な維持管理を行い、必要に応じて保守点検を行う。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	独自事業回数	回	39	44	
	成果指標	利用者数	人	3,690	3,970	
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			6,018	3,128	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他		3,240		
		一般財源		2,778	3,128	
	人件費 (B)		—	785	0	
		職員数	—	0.1	0.0	
		職員平均人件費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	6,803	3,128	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	174,436	71,091	
			—			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	213	100	

【事務事業の今までの成果】

オートキャンプサイトの整備やレンタル品の充実を図り、利用者へのサービス向上と同時に売上高もアップすることができました。
カヌー体験、野外炊飯、石窯ピザ作り体験等も実施し一般客の他、団体の利用も促進しました。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	テーブル、ベンチ等の老朽化が著しく、利用者の安全確保のためにも修繕、再構築を検討していただきたい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	学生等の野外活動は近年特に注目をあびてきているため、観光客誘致の第一歩として重要な事業と思われます。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	指定管理者制度導入している施設である。 今後は更に利用者の利便性を考慮し、現状のような効率的な施設運営に努めていただきたい。

一次評価診断図

